

総合戦略プロジェクト評価シート（平成27年度実績）

担当部課等名	健康福祉部 福祉保険課
基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	「にのみやLife」の提案と発信
プロジェクト	親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト

実施計画事業評価

	実施計画事業名	事務事業評価
01	同居・近居推進事業	B
02		
03		
04		
05		
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度においては、4件の補助金交付実績があった。 (住宅取得:2件 賃貸住宅への引越運搬費用:2件) 今後も一定の成果を上げていくための検討が必要である。 	

【参考】(事務事業評価の評価指標)

A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持

B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある

C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃

重要業績評価指標

指標名	基準値	目標値
「にのみやLife」PRホームページの閲覧数	14,451	基準値の2倍 (平成31年度の実績値)
空き家バンクに登録された空き家（空き地を含む） の利活用件数	-	30件 (平成27年度以降の累積実績値)

該当評価に
レを入れてください

総合評価	<input type="checkbox"/>	I: 基本目標の達成に向け、講ずべき施策を構成するプロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	II: プロジェクトとしては順調に進行しているが、さらなる推進のためには、一部、事業を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	III: プロジェクト全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	IV: プロジェクトを休止・廃止する
	説明	同居近居希望者に対する助成基準の見直しを行う必要がある。

今後の方向性

来年度に向けた 課題や意見等	空き家バンクホームページを活用し、利用者促進を図るとともに、状況に応じて交付対象の見直し等を検討していく。
-------------------	---

評価者 [担当主管部長]

① 継続

② 一部改善

③ 全面的な見直し

④ 休止・廃止

意見等

同居・近居は、現在の社会構造や少子高齢化に対して、一つのライフスタイルとして有用であることから、空家対策とも併せて今後も支援策を検討していく必要がある。